

2023年3月期 第2四半期 決算概要

2022年11月10日



PUNCH INDUSTRY

パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証プライム)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

■ 2023年3月期 第2四半期(以下、2Q)決算概要

2023年3月期 第2四半期 決算ハイライト

全地域で増収を達成するも、原材料・資源価格高騰の影響大

売上	連結	連結売上高は、前年同期比111.0%、21億円増の216億円。
	日本	前年同期比101.2%の69億円。 低調な自動車関連を精密機器関連がカバー。
	中国	前年同期比116.0%の121億円。 自動車関連で好調を維持。
	東南アジア	前年同期比117.2%の9億円。 シンガポール、タイ、ベトナム、マレーシアが好調を維持。
	欧米他	前年同期比118.7%の15億円。 医療関連が好調を維持。
利益		営業利益は、前年同期比86.9%の1,537百万円 経常利益は、前年同期比87.8%の1,524百万円 親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比72.0%の905百万円
ネット資金		四半期純利益の計上等により、期首から285百万円増加。



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

1

■ 2023年3月期 2Qの決算ハイライト

- 円安の影響はあるものの、1Qに引き続き、中国が業績に大きく貢献し、全地域で増収を達成
- 利益面では、売上増と連動した販売費及び一般管理費の上昇の他、仕入れコストの上昇による原価率悪化等の影響、製品への価格転嫁を進めているものの、コスト上昇の影響が利益面に大きく響いた
- 売上増と連動した販売費及び一般管理費の上昇の他、仕入れコストの上昇による原価率悪化等の影響等により、営業利益以下は減益

損益計算書サマリー(2Q比較)

(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	前年同期差	前年同期比
売上高	19,523	21,665	2,142	111.0%
営業利益	9.1% 1,768	7.1% 1,537	▲231	86.9%
経常利益	8.9% 1,736	7.0% 1,524	▲211	87.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6.4% 1,258	4.2% 905	▲352	72.0%



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

2

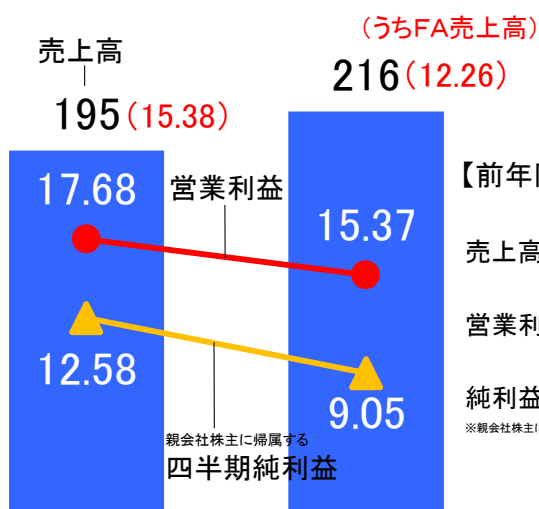
■ 損益計算書サマリー

■ 売上高は216億65百万円で、前年同期比111.0%、21億42百万円の増収

■ 営業利益は15億37百万円、経常利益は15億24百万円、そして親会社株主に帰属する四半期純利益は9億5百万円

売上高と利益(2Q比較)

(単位: 億円)



【前年同期比較】

売上高	21 億 42 百万円	増収
営業利益	2 億 31 百万円	減益
純利益	3 億 52 百万円	減益

※親会社株主に帰属する四半期純利益



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

3

■ 2022年3月期と2023年3月期の売上・利益比較(2Q)

■ 増収は達成したものの、期初の想定よりも原材料・資源価格高騰が影響しており、減益

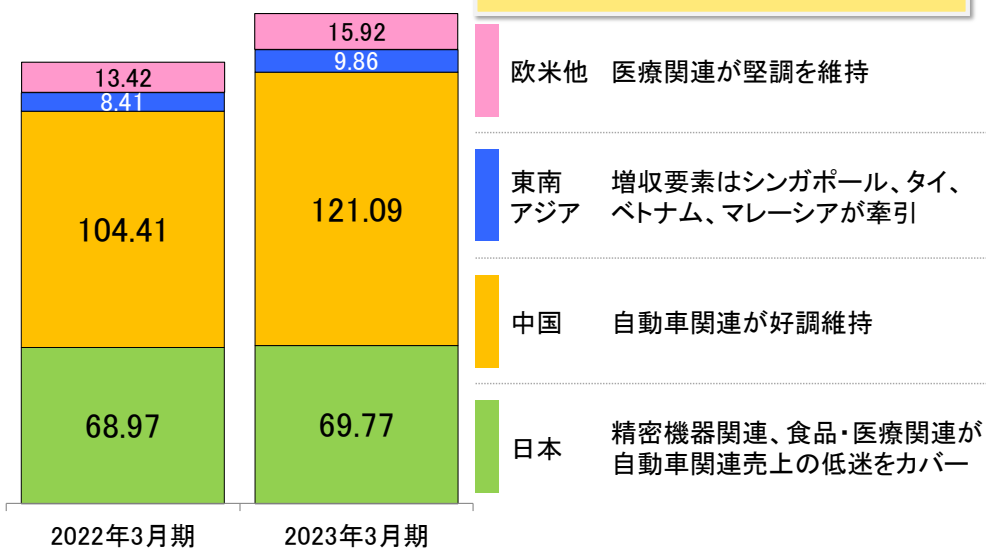
■ FA売上は前年同期特需の反動もあり、低調

➤ 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

地域別売上高(2Q比較)

(単位: 億円)

為替影響はあるが、全ての地域において増収を達成



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

4

■ 地域別の売上高

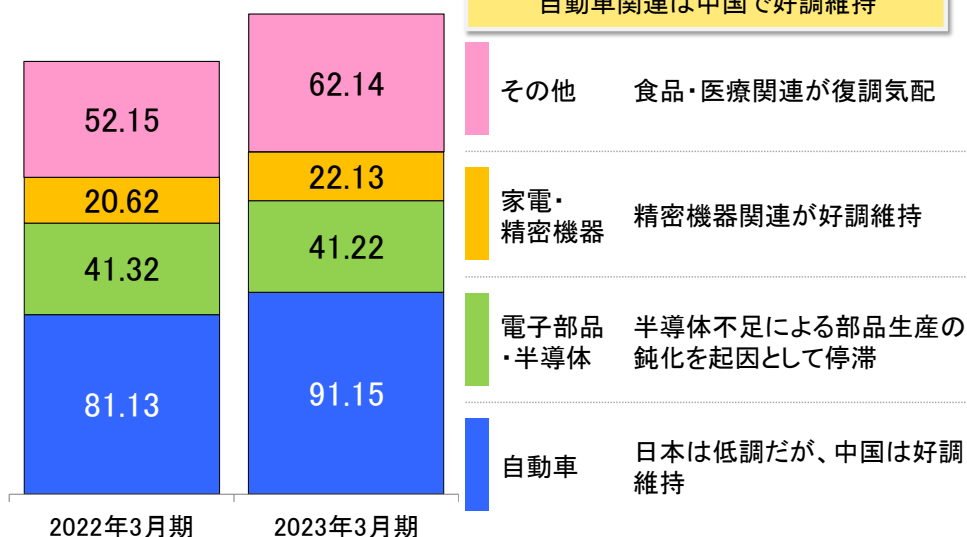
■ 全地域において増収を達成し、中でも中国が好調を維持

■ 日本は復調の気配は見せているものの、自動車関連売上の停滞が続いている状況

➤ 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

業種別売上高(2Q比較)

(単位: 億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

5

■ 業種別の売上高

■ 1Qに引き続き、自動車関連は、日本では低調だが、中国では好調を維持

■ 電子部品・半導体関連は日中ともにスマホ向け需要失速により鈍化

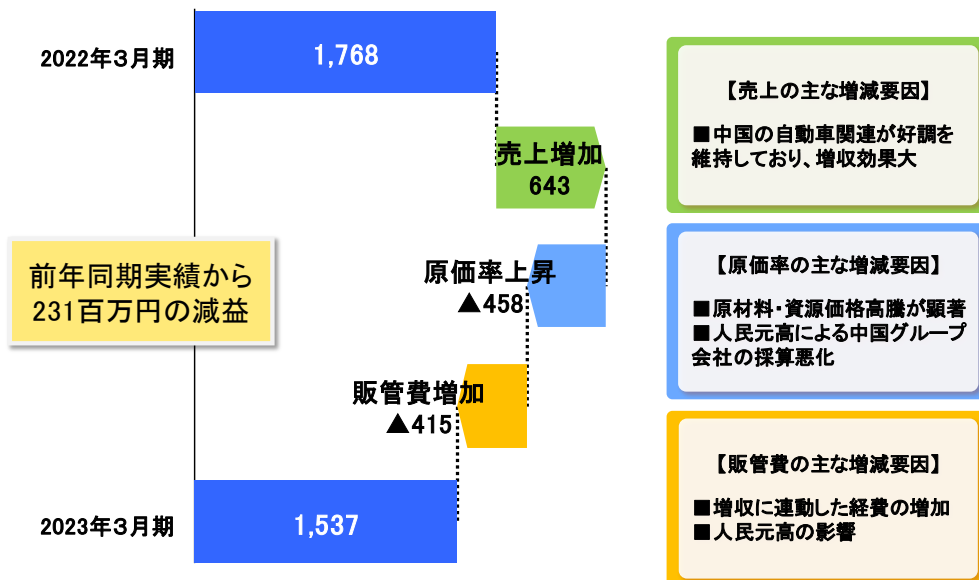
■ 家電・精密機器関連は精密機械関連が好調を維持

■ その他は食品・医療関連が復調気配

➤ 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

営業利益増減(2Q比較)

(単位: 億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

6

■ 営業利益の増減分析

- 前年同期の営業利益実績17億68百万円に対して、
売上増による利益増加が6億43百万円

原材料・資源価格高騰や人民元高による中国グループ会社の採算悪化等により、原価率が上昇し4億58百万円の利益減少

販管費は増収に連動した経費の増加や人民元高の影響で4億15百万円の利益減少

- 結果、2023年3月期 2Qの営業利益は、前年同期から2億31百万円の減益となり、15億37百万円を計上

貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2022年3月 期末	2023年3月 期 第2四半期末	比較増減
総資産	28,774	32,449	3,675
総負債	12,466	13,178	711
うち有利子負債	3,820	3,808	▲11
純資産	16,307	19,271	2,964
ネット資金	995	1,281	285
自己資本比率	56.5%	59.2%	2.7pt

	2022年3月 期 第2四半期	2023年3月 期 第2四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	613	699	85
減価償却費(無形固定資産含む)	470	554	84

■ 貸借対照表サマリー

■ 総資産は、36億75百万円の増加

■ 総負債は、7億11百万円の増加

■ 純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等により、前期末と比較して29億64百万円の増加

■ 上記の結果から自己資本比率は前期末から2.7ポイント上昇し、59.2%

■ 設備投資額は、前年同期から85百万円増加の6億99百万円

■ 通期では、設備投資14億80百万円、減価償却費10億円を見込む

2023年3月期 通期の業績予想を前回予想から据え置き

(単位:百万円)

	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 連結累計期間		
		通期予想 (2022/8/9公表)	前期差	前期比
売上高	39,358	44,300	4,941	112.6%
営業利益	7.7% 3,041	7.0% 3,100	58	101.9%
経常利益	7.6% 3,007	6.9% 3,070	62	102.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5.2% 2,040	4.2% 1,850	▲191	90.7%
自己資本利益率 (ROE)	14.2%	10.3%	▲3.9pt	—
2023年3月期 配当予想	13円 = 中間 6.50円 + 期末 6.50円(予定)			



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

8

- 通期の業績予想及び配当予想は、8月9日公表の内容を据え置き
- 日本では10月より約1万アイテムの価格改定を実施しており、影響度を検証中
- 上海ロックダウンの影響は、当初は当社工場の稼働はほとんど影響を受けておらず、またお客様の稼働停止による受注減はあった一方で、競合の工場からの供給が止まり、その分の注文が当社へ来るなどのプラス効果もあり、全体としては影響は少ない、という状況だった
- しかし、中国3Q(7～9月)以降は、ロックダウンによる部品供給停止が数ヶ月続いたことで、多業種に渡るお客様の生産に影響
- この状況がいつまで続くか不透明ではあるものの、足下では上海地区の生産が回復しつつあり、4Qには回復に向かうと予測
- 上記のことから、通期業績予想を据え置く
- なお、配当予想においても修正なし

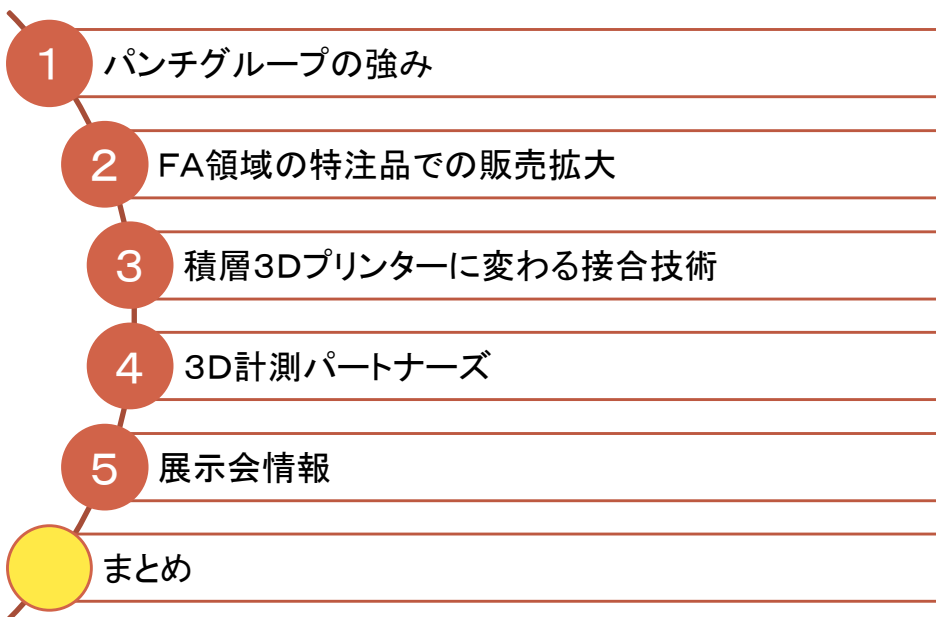


今後の成長に向けたトピックス

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

- 2022年3月の中期経営計画「バリュークリエーション2024」発表以降、特に投資家の皆様から関心の高かった点を改めて説明

今後の成長に向けたトピックス



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

10

■ 今後の成長に向けたトピックスとして、記載の5つにフォーカスを当て説明

- ① パンチグループの強み
- ② FA領域の特注品での販売拡大
- ③ 積層3Dプリンターに変わる接合技術
- ④ 3D計測パートナーズ
- ⑤ 展示会情報
- まとめ

■ 「なぜ、FA特注品に取り組むのか?」「P-Basとは、どんな技術か?」というご質問を多く頂戴しており、パンチグループの強みと合わせて説明

パンチスピリット ～創業者精神への回帰～

チャレンジ

未知の領域にチャレンジすることを通じて、
自己の成長と社会への貢献を果たす

創意工夫

あらゆる仕事に創意工夫を凝らし、
夢の実現に向けて粘り強く困難を克服していく

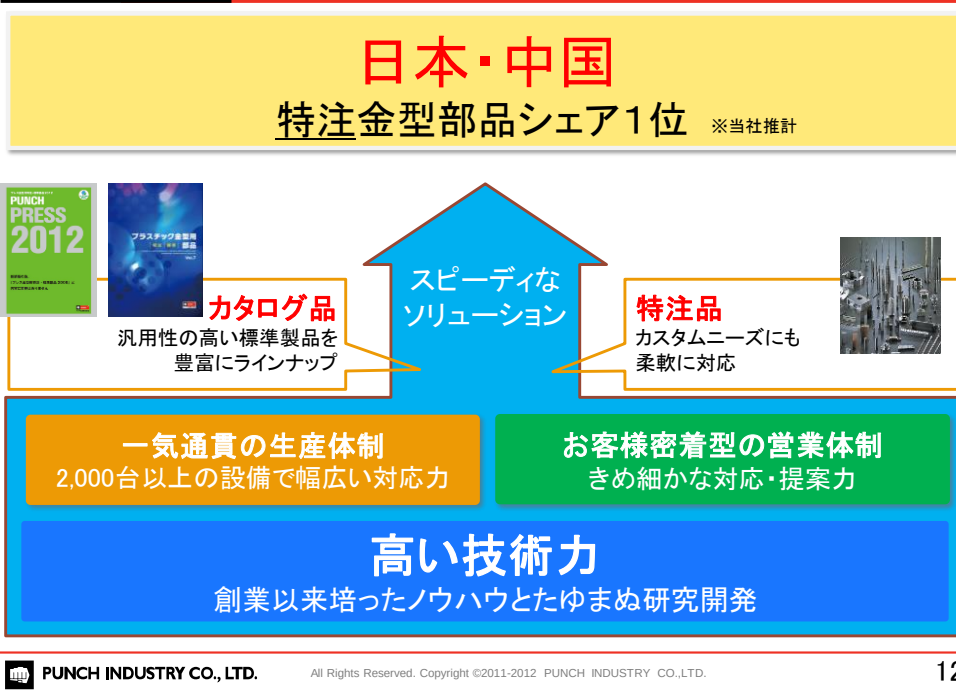
自由闊達

一人ひとりの個性や多様性を尊重し、
自由闊達で活力にあふれた職場を共につくる



- パンチグループでは、先行きが不透明な時代こそ、創業者の情熱や執念といった起業の原点に立ち返ることが必要であるとの思いから、「創業者精神への回帰」を企図した「パンチスピリット」を制定しており、「チャレンジ」「創意工夫」「自由闊達」の3つをキーワードに、グループ全体への浸透を図ってきた
- このパンチスピリットが社内に息づいている点が、パンチグループの強みの一つ

パンチグループの特徴



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

12

- パンチグループの特徴は、「製販一体となった製造直販」であり、この基本スタイルを支えているのは、高い技術力
- ポイントは、「2,000台以上の生産設備を保有する一気通貫の生産体制」「きめ細かな対応と提案が可能なお客様密着型の営業体制」
- また、カタログ品と特注品をいずれも幅広く取扱い、お客様の多様なニーズにきめ細かく対応し、お客様に高い満足度を提供できるということがパンチグループの最大の特徴
- その特徴を発揮するための企業アイデンティティとして、新たなことに挑戦し、失敗しても諦めずに創意工夫を凝らし、自由闊達な意見交換を行って最後までやり抜く、というパンチスピリットを全員で発揮してきたことにより、現在の日本・中国での、「特注金型部品シェア1位」が成し遂げられている

パンチグループの方針

パンチスピリット

特注品製造ノウハウの
更なる成長

チャレンジ

特注金型部品シェア1位
日本・中国で確立

創意工夫



自由闊達

FA領域の“特注品”へ進出
FA装置分野へと新たな成長



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

13

- 中期経営計画「バリュークリエーション2024」では、改めて、強みである金型部品の特注品製造ノウハウの更なる成長を目指し、その延長線上としてFA特注品分野に進出する、ということが今後の成長に向けたストーリーの大枠
- 2022年度より、パンチスピリットは、金型部品の特注品からFA特注品へ発揮

中期経営計画「バリュークリエーション2024」骨子

自動化・省人化需要を新たな成長エンジンに ～ 常に「お客様の第一候補」であり続ける ～

必ずやぶれ!!



パンチスピリット

ものづくり現場での自動化・省人化需要の高まりに「FA領域の“特注品”」で応える

※FAとは、ファクトリーオートメーション (Factory Automation) の略称

新技術・新サービスの持続的な開発により、金型部品事業での確固たる地位を確立する

SDGsやESGによる「社会課題の解決」を通じて企業価値向上を図る



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

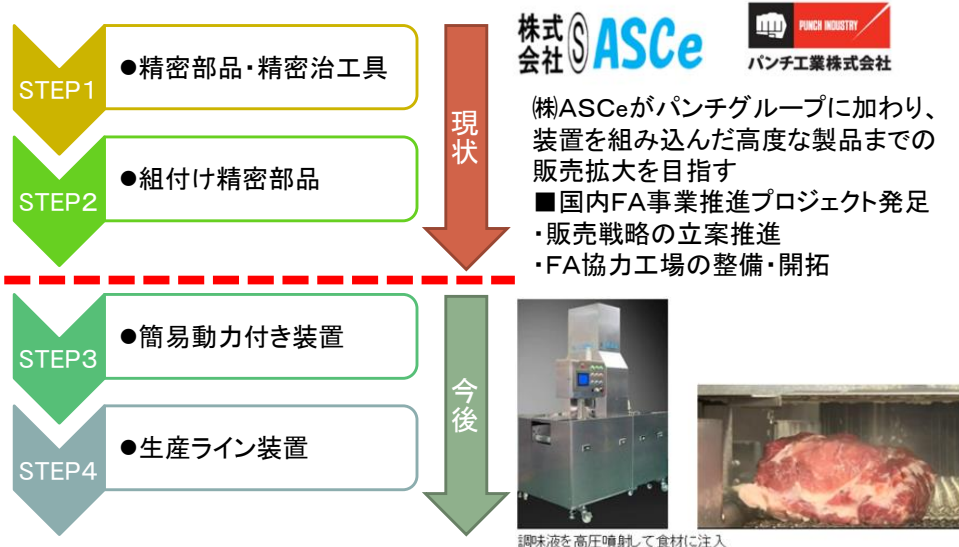
All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

14

- 中期経営計画「バリュークリエーション2024」では、最終年度にパンチグループの「ありたい姿」を設定
- パンチグループは「バリュークリエーション2024」最終月に創業50周年を迎える
- 事業の軸足は金型部品に置くが、新たな成長エンジンが必要と認識
- 成長エンジンは、今後の「自動化・省人化需要を踏まえ、FA領域の“特注品”販売拡大」
- そのためにも新技術・新製品の持続的な開発を実行し、金型部品事業での確固たる地位を確立するなかで、SDGsやESGによる社会課題の解決を通じて、企業価値の向上を図る

FA領域の“特注品”の販売拡大

金型部品の特注品で培った技術力を新・事業領域であるFA領域の“特注品”に応用

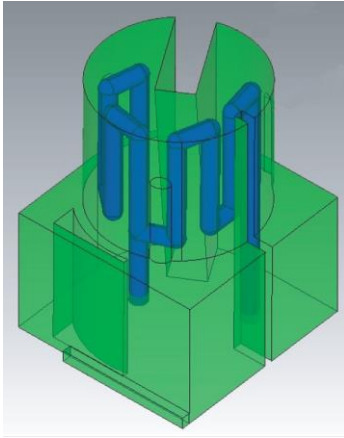


- 2022年10月、「FA領域の“特注品”の販売拡大」実現のための施策として、ASCe(アスク)の全株式を取得することを公表
- 食品加工・自動車部品・電子デバイス・医療関連等のFA機器の自社開発に強みを持つASCeがパンチグループに加わることで、双方の販路の有効活用や技術交流等によるシナジー効果が発揮され、「バリュークリエーション2024」の経営目標の達成と、グループ全体の中長期的な企業価値の向上につながる
- ASCeの製作事例の1つに、「ニードルレス調味液注入機」という、肉や魚などの食品に、水鉄砲のように高圧で調味液を飛ばして注入する装置(ASCe特許技術)があり、この装置で加工すると、調味液の漬け込み時間が削減できるほか、食品に指す針が無いことから異物混入の恐れがなく、かつ設備洗浄にかかる時間も短縮できるというメリットがあり、特筆すべきはその開発・設計力
- パンチグループのFA特注品の現状は、チャート左のSTEP1の「精密部品・精密治工具」や、STEP2の「組付け精密部品」であり、これからSTEP3、4を増やしていく為には、お客様の困りごとに気付き、提案・具現化を出来る必要がある
- 課題となっていたのが、FA機器の開発・設計のノウハウであり、その解決のための第一歩

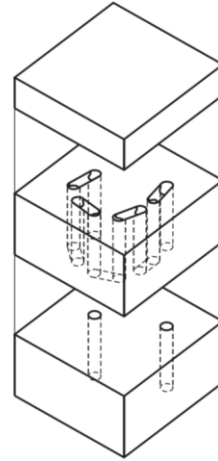
積層3Dプリンタに代わる接合技術P-Bas[®](商標取得)

P-Basで制作する理想的な冷却水管の特注金型部品

金属3Dプリンタでの製作例



分割加工・接合により
同様の水管が製作可能



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

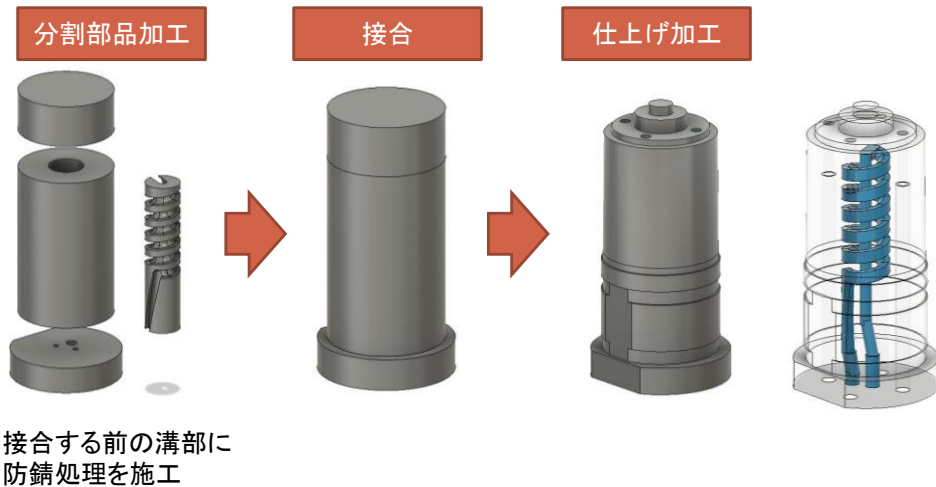
All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

16

- また、現状の金型部品の特注品もR&D強化で更なる成長を目指す
- 取組んでいるのは、バリュークリエーション2024で初めて紹介した、P-Basという技術
- P-Basという名前はパンチ工業のP、接合と焼結を表すbonding and sinteringから名付けた
- P-Basは接合と焼結どちらも可能だが、接合技術をメインに記載
- P-Bas接合を簡単に説明すると、接合物を加圧しながら加熱することで、2つ以上の金属を一体化する技術
- ✓ 成形品を効率よく冷やす冷却水管を使用するお客様などが特にお勧め
- 例えばチャートの左図のように、金属3Dプリンタで製作していた複雑な形状の冷却水管を含んだ部品をP-Bas接合では、右図のように3分割して水管を加工し、この3部品を接合することで、同様の水管を配置したブランクを作ることが出来、仕上げに外形を加工し、この部品を完成させる
- ✓ ブランク: 一定の加工を施した汎用性のある材料

ダイカスト金型用コアピンのP-Bas® 試作例

▶ 内部に螺旋水管を配置



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

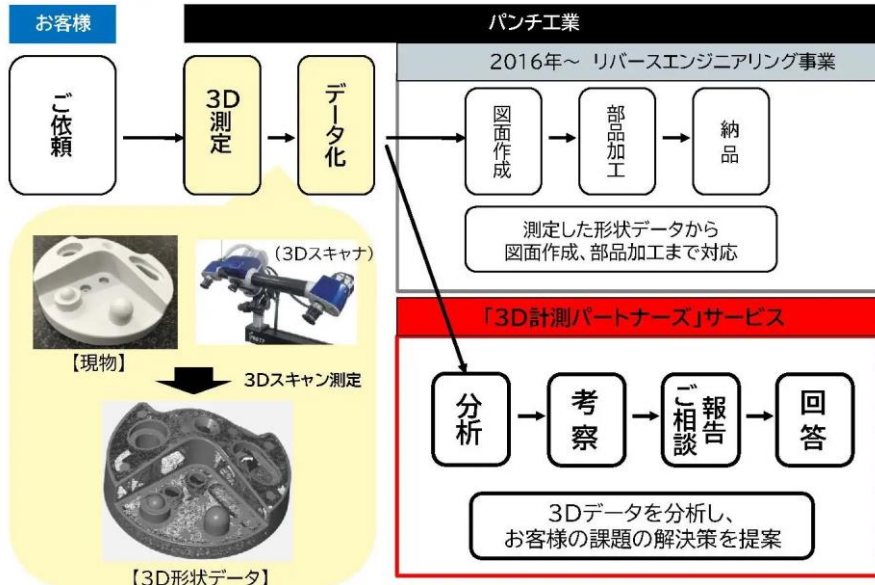
All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

17

- 他試作例として、螺旋状の水管が内部に配置された特注金型部品を記載
- パンチグループでは、螺旋状に溝を切った部品を筒の中に入れ、上下に蓋をすることで作製を可能にした
- P-Bas接合では、金属3Dプリンタでしか作ることが出来なかった部品が、接合技術で製作する事が可能
- また、金属3Dプリンタで作成した水管は表面がザラザラしているので、水はけが悪い内部に錆が発生していることことがある一方、P-Bas接合では切削で水管部を防錆加工するので、滑らかで錆びづらく仕上げる事が可能
- ✓ 水管のサビ対策として特許出願中の技術

3D計測パートナーズ

特設ページ <https://www.3dm-partners.com/>



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

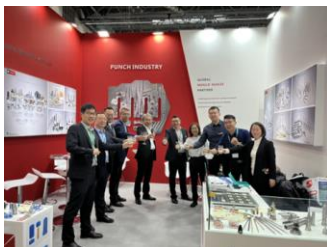
All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

18

- また、その他の取組みでは、長年培ってきた金型部品製造の技術力と品質、ものづくり業界における実績に加え、3Dスキャナでの測定技術を活用した新サービス「3D計測パートナーズ」の提供を2022年1月より本格的に開始
- 「3D計測パートナーズ」は、従来の寸法測定では正確にわからなかったり、測定に時間がかかったりする「形状」を測定し、お客様の製品開発や生産に関わる「ものづくりの完成度確立」についてご提案を行うサービス
- お客様からお預かりした測定物を3Dスキャナで測定するだけでなく、測定した形状データを分析し、分析結果をご報告することでお客様の製品開発や量産条件確立などに貢献

主な展示会への出展情報

期間			開催地		展示会
3/15	～	9/16	日本	オンライン	インターモールドオンライン2022
10/19	～	10/26	ドイツ	デュッセルドルフ	国際プラスチック・ゴム産業展
10/21	～	10/22	日本	羽田	おおた研究・開発フェア
10/25	～	10/28	ドイツ	ハノーヴァー	EuroBLECH 2022(ユーロブレッチ)
12/1	～	12/2	日本	浜松町	ものづくりパートナーフォーラム2022



プラスチック・ゴム産業展



EuroBLECH 2022



おおた研究・開発フェア

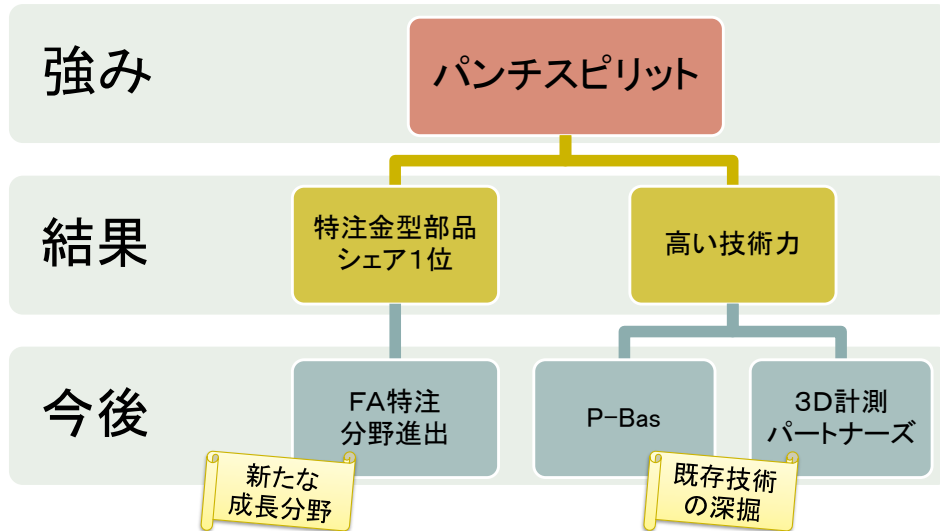
■ 主な展示会への出展情報

■ 直近では海外での製造系の展示会も再開傾向

■ 新規・既存の技術力を国内外の展示会でもアピールを実施

まとめ

社内に息づく、「チャレンジ」「創意工夫」「自由闊達」のパンチスピリット



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

20

■「今後の成長に向けたトピックス」を整理

- ① パンチグループの強みは、社内に息づく、「チャレンジ」「創意工夫」「自由闊達」のパンチスピリットであり、その強みの結果として、特注金型部品のシェア首位
- ② その強みの新たなるターゲットはFA特注品であり、次の成長の軸足としたい
- ③ また、特注金型部品もP-Basなどの新技術を活用することで、事業の根幹として更なる成長を目指す

参考資料

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

■ 各資料につきましては、当社Webサイトよりご覧ください。

■ 中期経営計画

➤ http://www.punch.co.jp/ir/med_management.html

■ 決算短信

➤ <http://www.punch.co.jp/ir/library/tanshin.html>

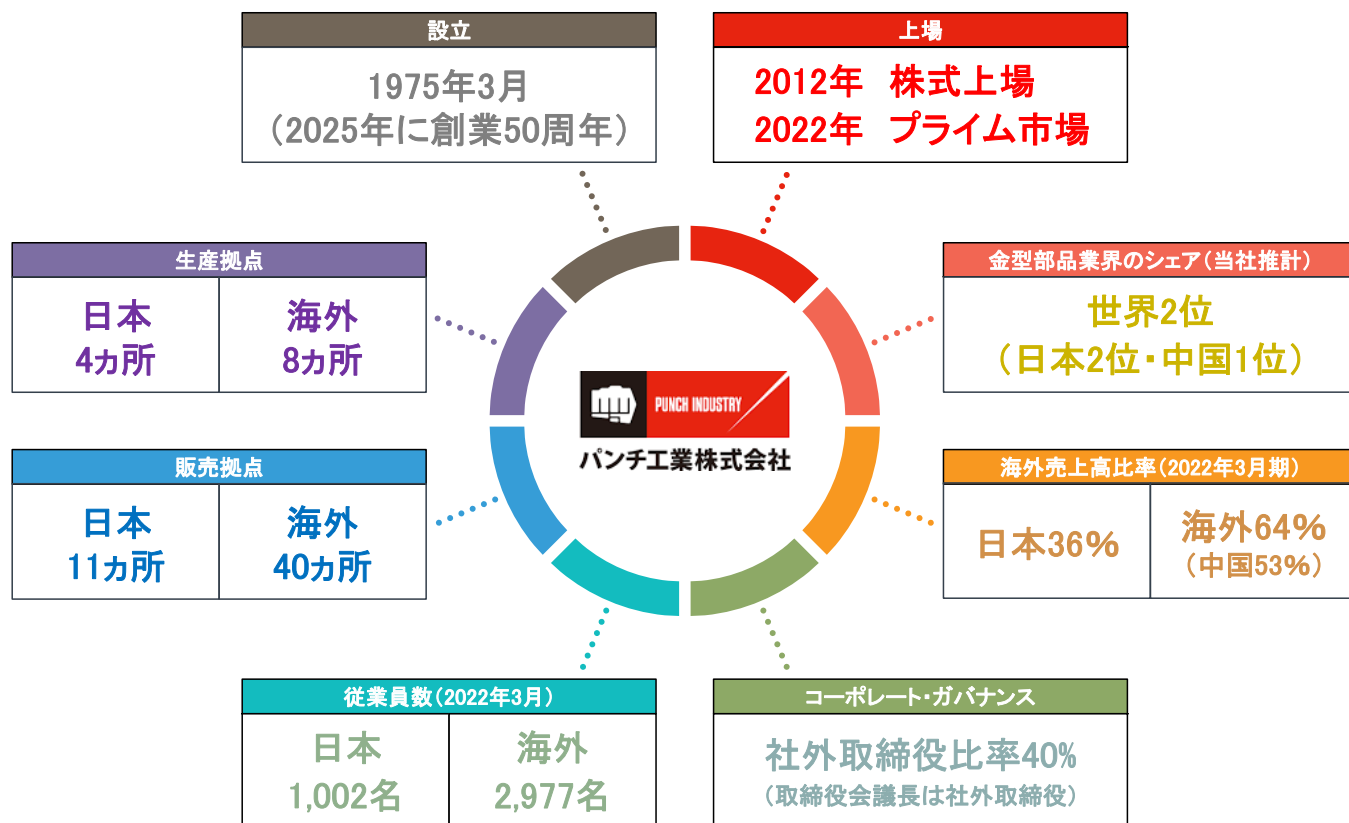
■ 決算説明資料

➤ <http://www.punch.co.jp/ir/library/setsume.html>

■ IRニュース一覧

➤ <http://www.punch.co.jp/ir/2022/>

ひと目でわかるパンチグループ



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

22

マネジメント体制

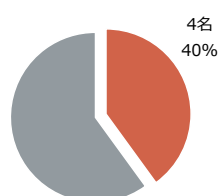
代表取締役社長プロフィール

氏名及び生年月日	職歴
 森久保 哲司 (1977年1月22日)	2003年5月 当社入社
	2005年2月 盤起工業(大連)有限公司
	2012年11月 バリュー・クリエーション推進室長
	2013年4月 経営企画室長
	2015年4月 PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.
	2016年5月 執行役員
	2018年6月 取締役 上席執行役員 経営戦略統括
	2019年4月 最高戦略責任者 グループ事業統括
	2019年6月 代表取締役(現任) 副社長執行役員
	2019年11月 社長執行役員 最高経営責任者 グループ経営統括(現任)

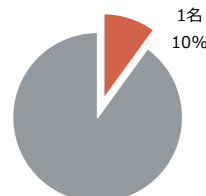
取締役体制

取締役	代表取締役社長執行役員 最高経営責任者(CEO)	森久保 哲司
	取締役常務執行役員 最高執行責任者(COO/営業)	真田 保弘
	取締役上席執行役員 最高財務責任者(CFO)	村田 隆夫
	取締役上席執行役員 最高執行責任者(COO/製造)	高梨 晃
	取締役	杉田 進
	社外取締役 取締役会議長	高辻 成彦
	社外取締役	大里 真理子
取締役 (監査等委員)	取締役(監査等委員)	河野 稔
	社外取締役(監査等委員)	松江 頼篤
	社外取締役(監査等委員)	鈴木 智雄

社外取締役比率



女性取締役比率



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

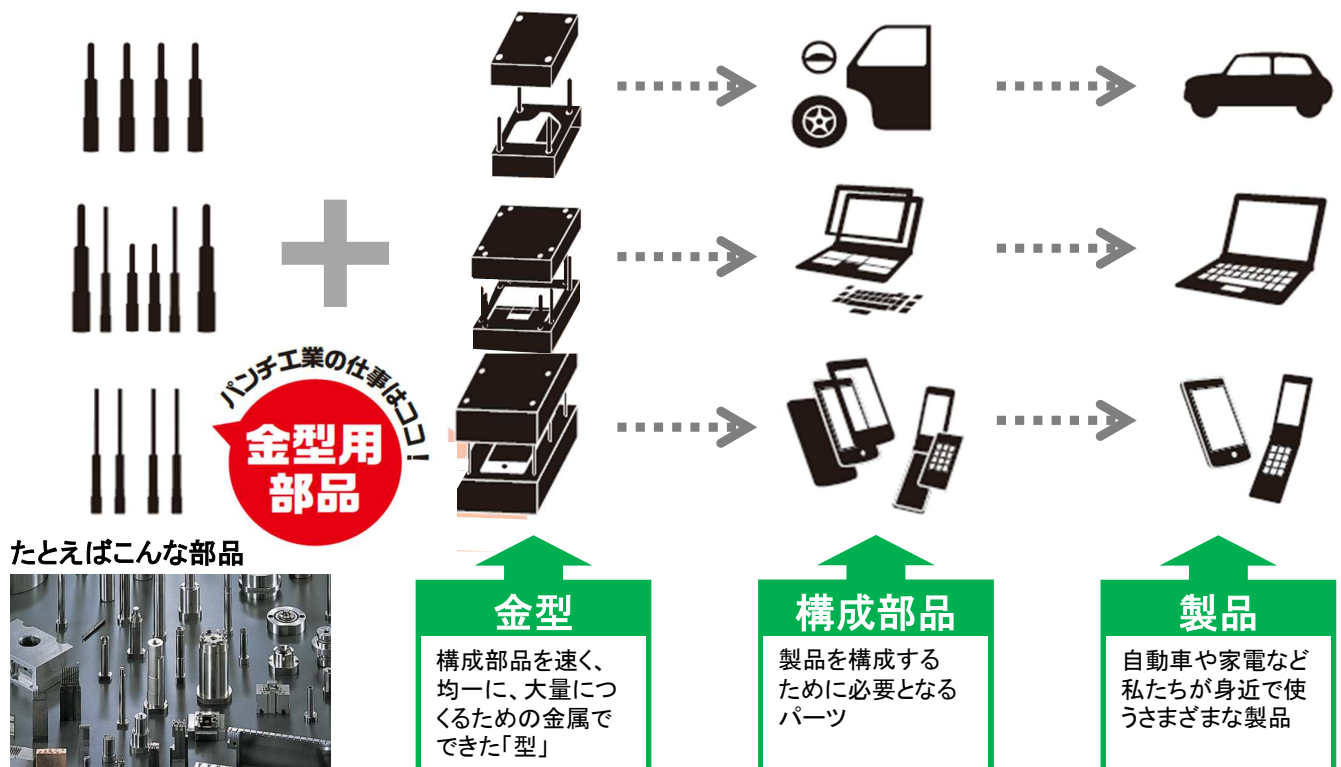
All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

23



事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密金型部品の製造・販売
皆様の豊かな生活を支える「縁の下の力持ち」



パンチグループの主要製品

射出成型金型等のプラスチック金型部品とプレス加工金型等のプレス金型部品
ものづくりの上流から下流までお取引

プラスチック金型部品

プラスチック金型は、スマートフォンやデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられています。加熱溶解したプラスチック樹脂を、射出成形機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られます。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

エジェクタピン

射出成形された成形品を金型そのものから離し、突き出すための部品（押し出しピン）です。



主要な製品

コアピン

製品部を成形するのに使用し、コアピンの形が転写されます。製品部の貫通させた部分を成形したり、製品部に彫刻をします。

プレス金型部品

プレス機（上下運動する機械）に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料となる金属の鋼板を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品ができていきます。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

パンチ

プレス金型に組込まれる代表的な部品で、金属板に穴をあけたり、形状を転写するための部品です。当社の社名はこのパンチに由来しています。



主要な製品

ホルダーガイドポスト関連

上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品です。



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

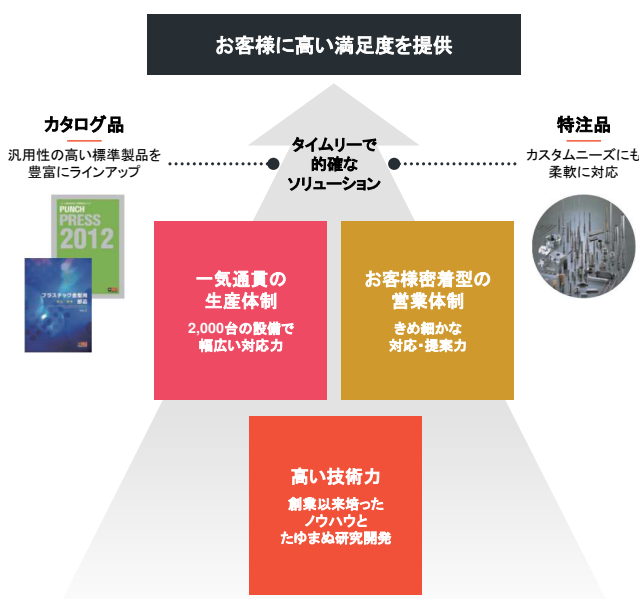
All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

26

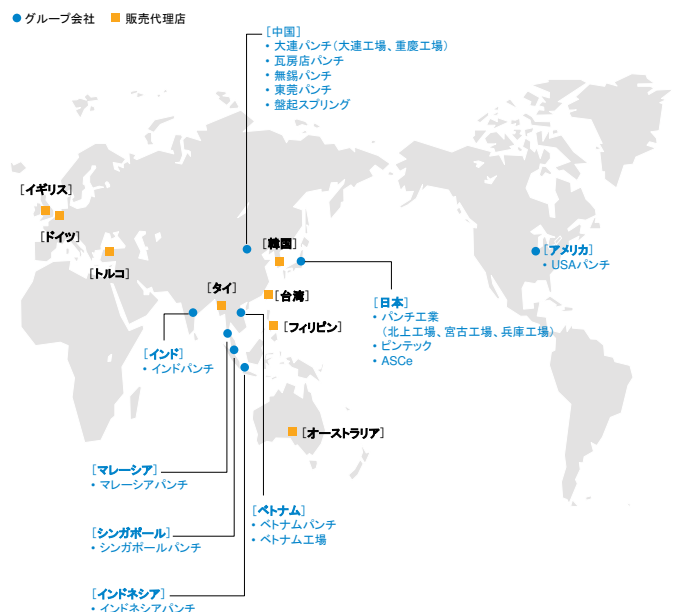
パンチグループの強みとネットワーク

汎用性の高いカタログ品を豊富にラインアップ & カスタムニーズにも対応する特注品
世界の「ものづくり」を支える

パンチグループの強み



パンチグループのネットワーク



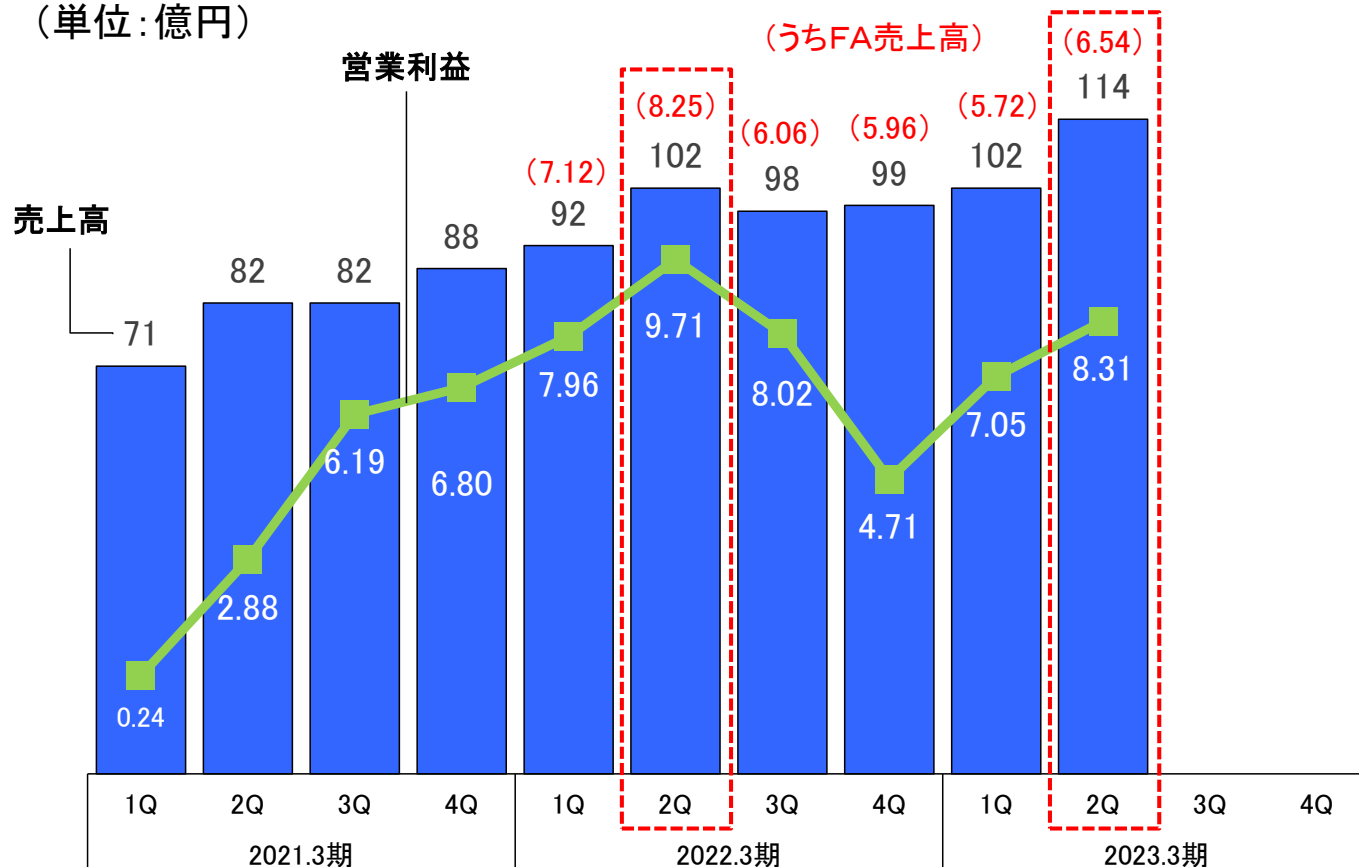
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

27

売上高と営業利益の推移

(単位: 億円)



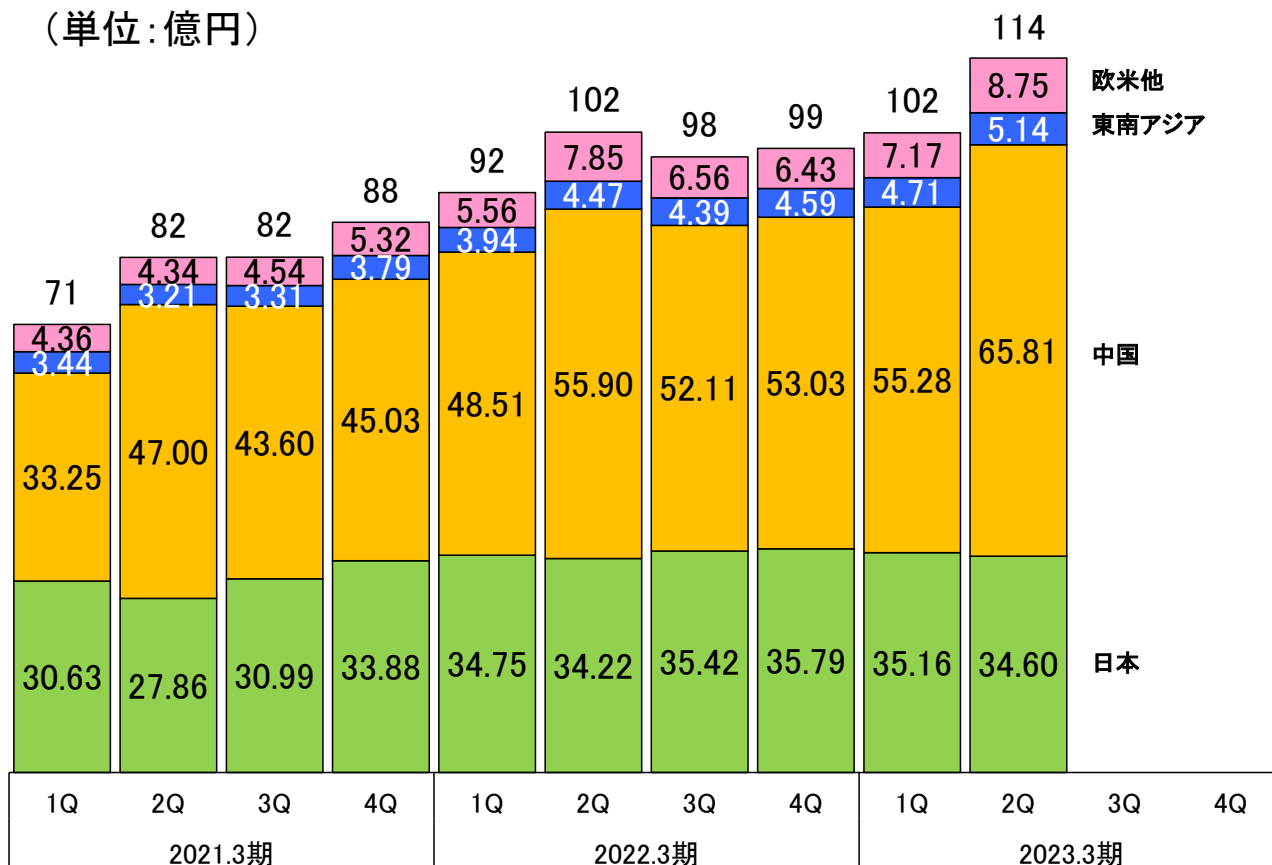
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

28

地域別売上高

(単位: 億円)



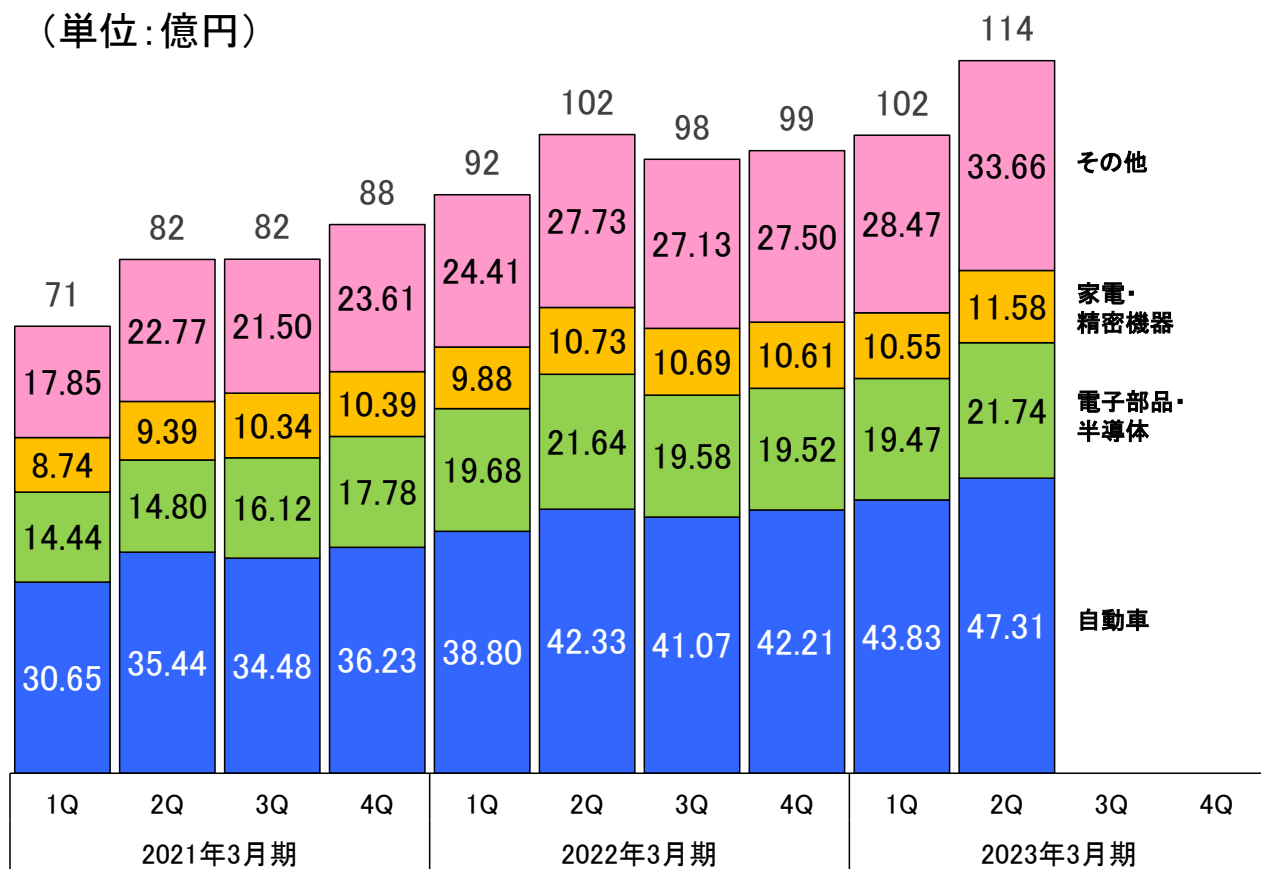
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

29

業種別売上高

(単位:億円)



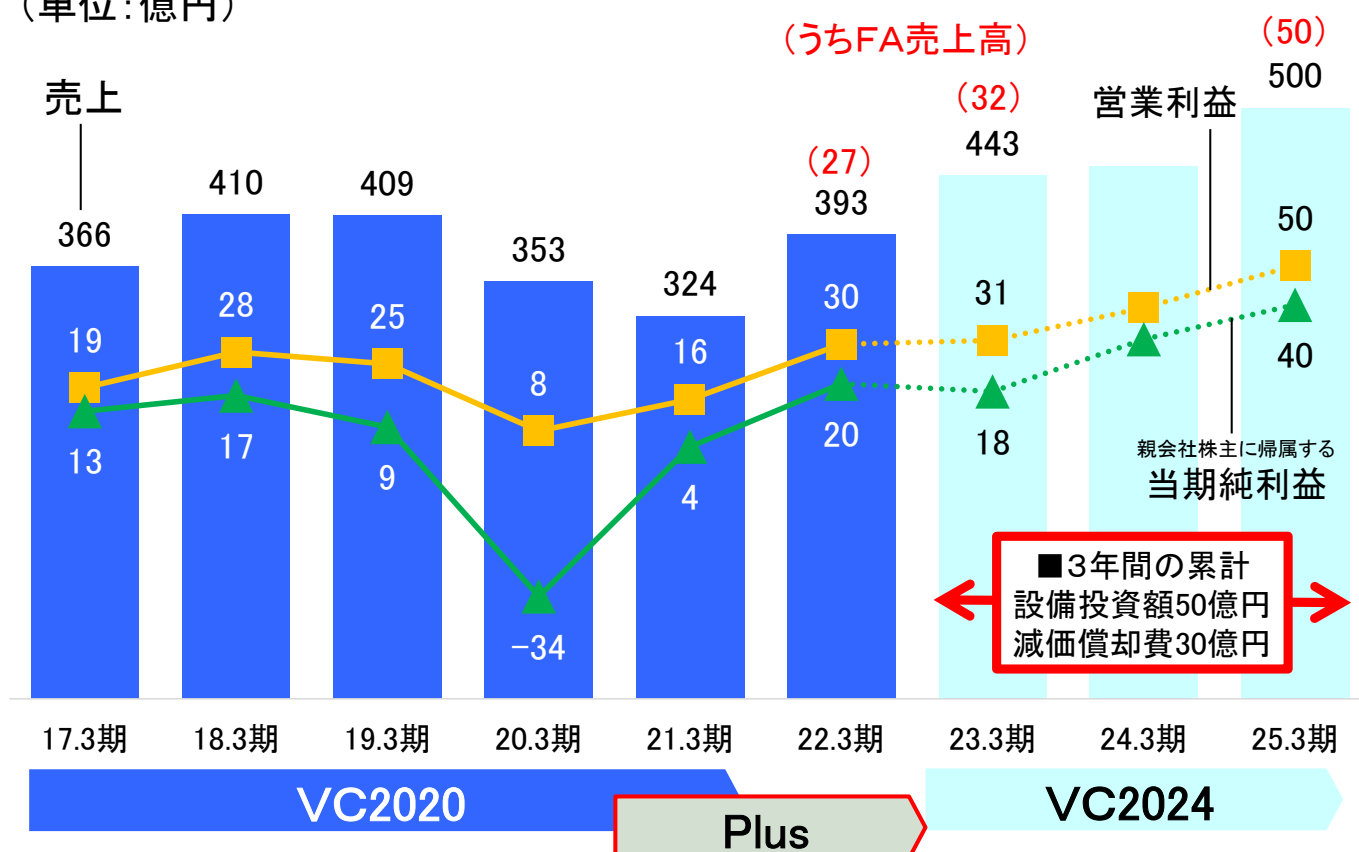
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

30

中期経営計画「VC2024」の経営数値目標

(単位:億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

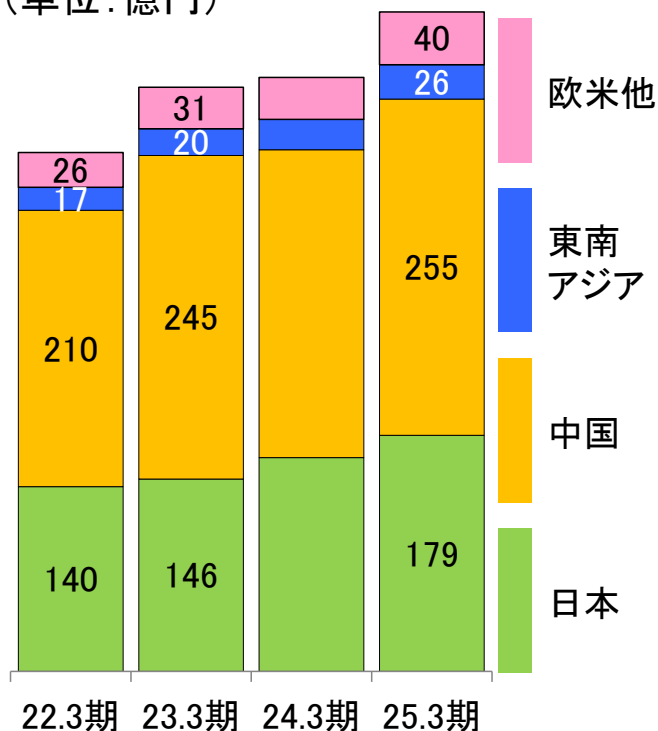
All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

31

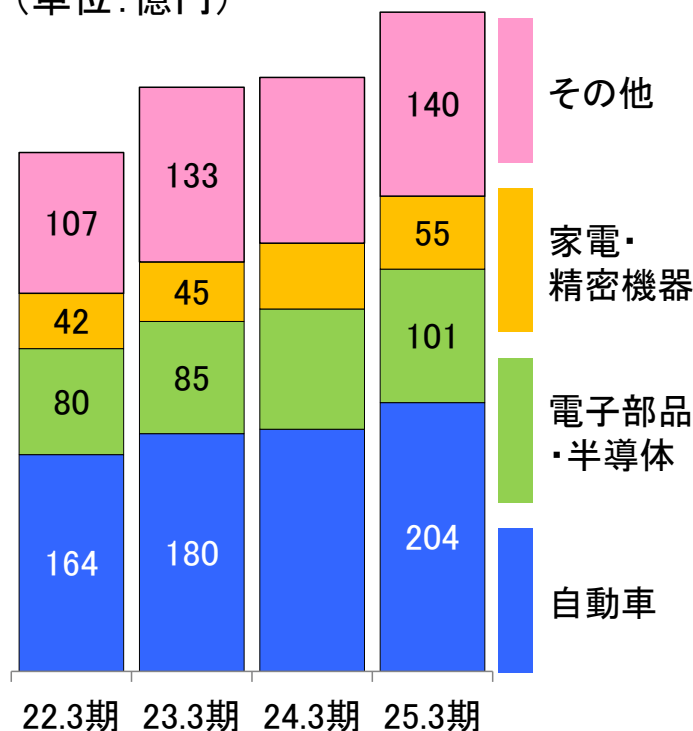
VC2024の地域別・業種別売上の数値目標

「VC2024」は、2022～2024年度（2023年3月期～2025年3月期）

（単位：億円）



（単位：億円）



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

32

流通株式時価総額の増大に向けて

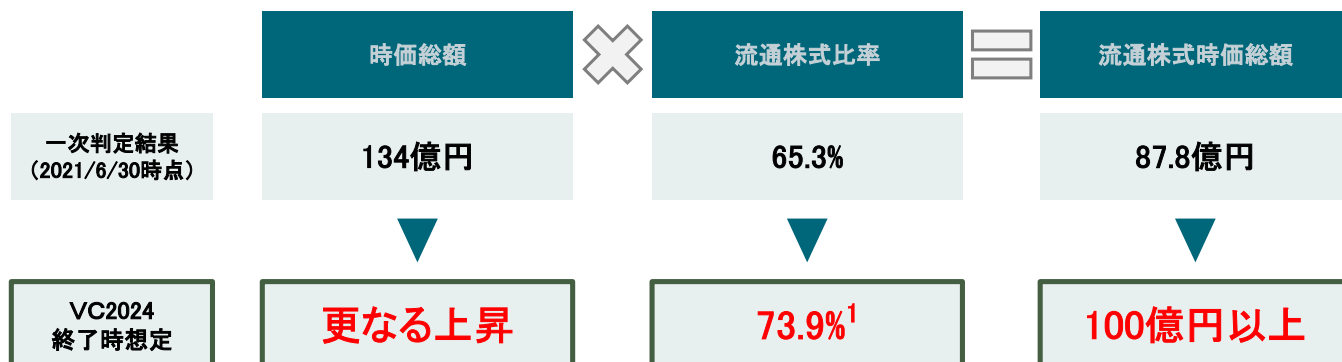
企業価値向上のための施策を通じた株価・時価総額上昇を通じ、プライム市場の上場維持基準である流通株式時価総額100億円の達成・及び更なる上昇を目指す

流通株式時価総額上昇に向けた課題

企業価値向上施策を通じた株価上昇
 ROIC経営による「稼ぐ力」の強化
 成長投資と安定配当を最適バランスで実施

課題解決に向けた基本方針

成長に向けた設備投資の実施
 DX推進での業績向上と働き方改革
 新技術・新製品の持続的な開発



1. 第三者割当による行使価額修正条項付第4回新株予約権の発行にて2,500,000株の新株を発行し、その全てが流通株式に該当したと仮定



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

33



【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営戦略室 広報IR課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。